

MANIX REPORT

マニックス リポート



株式会社MANIX
代表取締役社長
松田 幸治

新年あけましておめでとうございます。
旧年中の格別のご高配に心から感謝申し上げます。

皆様にとって2016年が実りある年となりますことをお祈りいたしますと共に、
本年より一層のご厚情、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、社員一同心よりお願い申し上げます。

弊社のことで大変恐縮ですが、株式会社MANIXは本年で創業60周年を迎えます。60年という長い歴史を歩むことができたのは、お得意先様、仕入れ先様のご支援、ご協力があってこそだと心から感謝しています。本当にありがとうございます。

1956年に松田貴之が創業、1972年に前身となる丸与産業株式会社に商号を改め、今日に至るまで多様に変化する道のりを歩んできました。創業当時は造船に関わるタイル工事を社業の中心としていましたが、造船ブームの下火に伴い、次第に建設工事に関わる物販を中心とした商売に変化していきます。造船に関わる当時からタイル工事を含め衛生陶器も取り扱っていましたので、同じ商品である衛生陶器を必要とする地域の水道工事店様と商売をさせていただくようになりました。経営の観点から考えると、このとき商売の大きな舵を切ったことになります。その後、配管資材の取り扱いをスタートし、今の商売の原形が整うことになります。既に同業者が商売を展開する中で、後発であった我々から仕入れをしていただくためには差別化が必須でした。当時はお得意先様が必要な資材を我々のような卸問屋へ引き取りに来ることが当たり前といった時代でしたが、我々はお得意先様の現場への配達、事務所への納品を同業他社との差別化として取り入れました。そのスタイルはお得意先様に大変重宝され、取引いただけるお得意先様が増えていったと聞いています。今では当たり前のように行われていることが、当時は大きな差別化になっていたと思うと、これから商売を続けさせていただくうえで、将来的にはスタンダードとなるお得意先様のニーズに合った新しいサービスの形を常に考えなければならないと改めて感じます。是非とも普段接する弊社社員にお得意先様が我々に望むことを教授いただけましたら幸いです。

何においても弊社はお得意先様と仕入れ先様に育てていただきました。創業60周年を迎える本年だからということではなく、常に感謝の想いを持って皆さまとの商売を継続させていただきたいと心から願っています。そしてお得意先様にとって仕入れ業者の枠を超えて、仕事のパートナーと感じていただけるよう、これからも社員と共に日々精進していきます。これまで育てていただいたことへの感謝を胸に、これからのお付き合い、皆さまと触れ合う弊社社員へのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後までお読みいただきありがとうございました。